



国際理解出前講座

中東の国 シリア

2021年4月20日（月曜日）
飾磨橋東公民館で、国際理解出前講座「中東の国 シリア」を開催しました。

講師は長嶋正明さん。現在の内戦につながる「アラブの春」発生以前に、JICAのシニアボランティアとしてシリアで支援活動を行っていました。

講座にはシリアや異文化に関する心のある22名が参加しました。

講座は地理や国旗の話に始まり、講師が見た日常や日本との比較など、参加者の方々に質問をしながら進行しました。

はじめに、シリアはとても親日的な国で甘い物好きな人が多いなど、のどかな街並みや風景、遺跡など多くの写真とともに紹介しました。またシリアはピスタチオやオリーブの生産が盛んで、特産品であるアレッポ（オリーブ）石鹼を見ていただきました。



次に宗教観について話しました。シリアではイスラム教徒が85%を占め、礼拝堂のモスクで毎日礼拝が行われていたそうです。礼拝に使用する数珠の紹介も行いました。女性の顔を覆うヒジャーブ（スカーフ）については、付けている人は半数程度で、首都ダマスカスでは教えをしっかり守る保守的な方が多く見られたものの、アラブ社会の中では比較的自由度が高い国だと紹介しました。また当時は犯罪率が低く、夜間に女性の一人歩きもできるほど安全だったと実体験を語りました。

最後に「アラブの春」以降のシリア、中東諸国情勢についても説明しました。難民が多く発生し問題化していることについて話し、日本のシリア支援団体「サダーカ」を紹介しました。内戦のない本来のシリアの姿を知り、動向に興味を持っていただければと締めくくりました。

今回の講座は質問を随時受け付け、その都度長嶋さんが質問に答える形で進行しました。参加者のみなさんは非常に熱心に質問を投げかけ参加されていました。

